

第22回名城大学技術士会講演会の報告

名城大学技術士会の第22回名城大学技術士会講演会を11月28日(水)に名城大学天白キャンパス11号館 1階 理工学部第1会議室にて開催しました。これは、毎年、当会が名城大学理工学部後援会の協賛のもとに、年に2回開催している講演会の内、秋に実施しているものであります。

講師に愛知工業大学 工学部 電気学科 箕輪 昌幸 教授をお招きし、「雷現象と雷害防止技術の動向」というテーマで講演して頂き、当会会員及び大学の関係者や一般の方から約40名という多数の参加がありました。

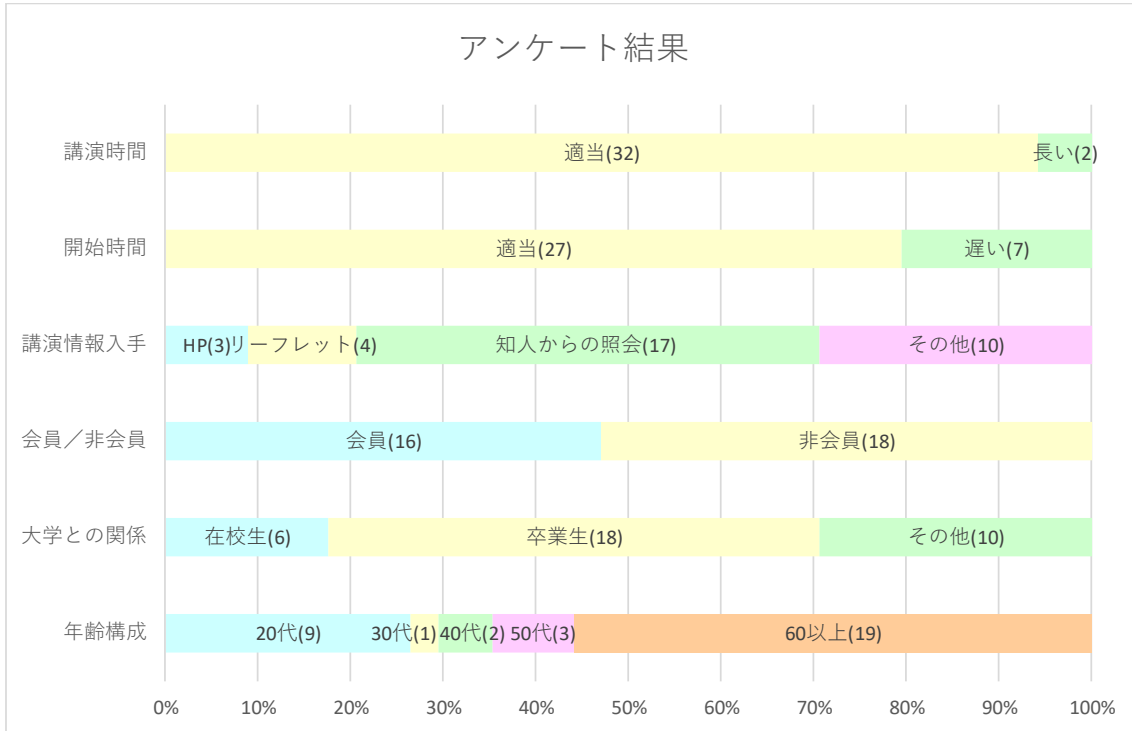
名城大学技術士会として次回の講演会は、当会の総会時に合わせて6月頃を予定しています。次回も皆様のご参加をお待ちしております。



「写真」箕輪 昌幸教授による講演風景

秋の講習会に関するアンケート結果

<アンケート記入者：34名>



○今後希望する講演会テーマ

- ・環境分野の最近の動向
- ・情報技術の将来
- ・山里等、環境に関するテーマ
- ・道路に関するテーマ
- ・雷に関するテーマ
- ・耐震・免振対策の現状と展望
- ・気候変動の解明と見通し
- ・地震、水害関係

○その他意見

- ・天白キャンパスは遠い。(60以上)
- ・以前の名駅サテライトのような場所で行ってほしい。(60以上)
- ・なじみのあるテーマで楽しい講演会でした。(60以上)
- ・大変興味深い講演でした。(60以上)
- ・日本に技術士制度は必要か？部門により重要性の差異が認められる。(60以上、非会員)